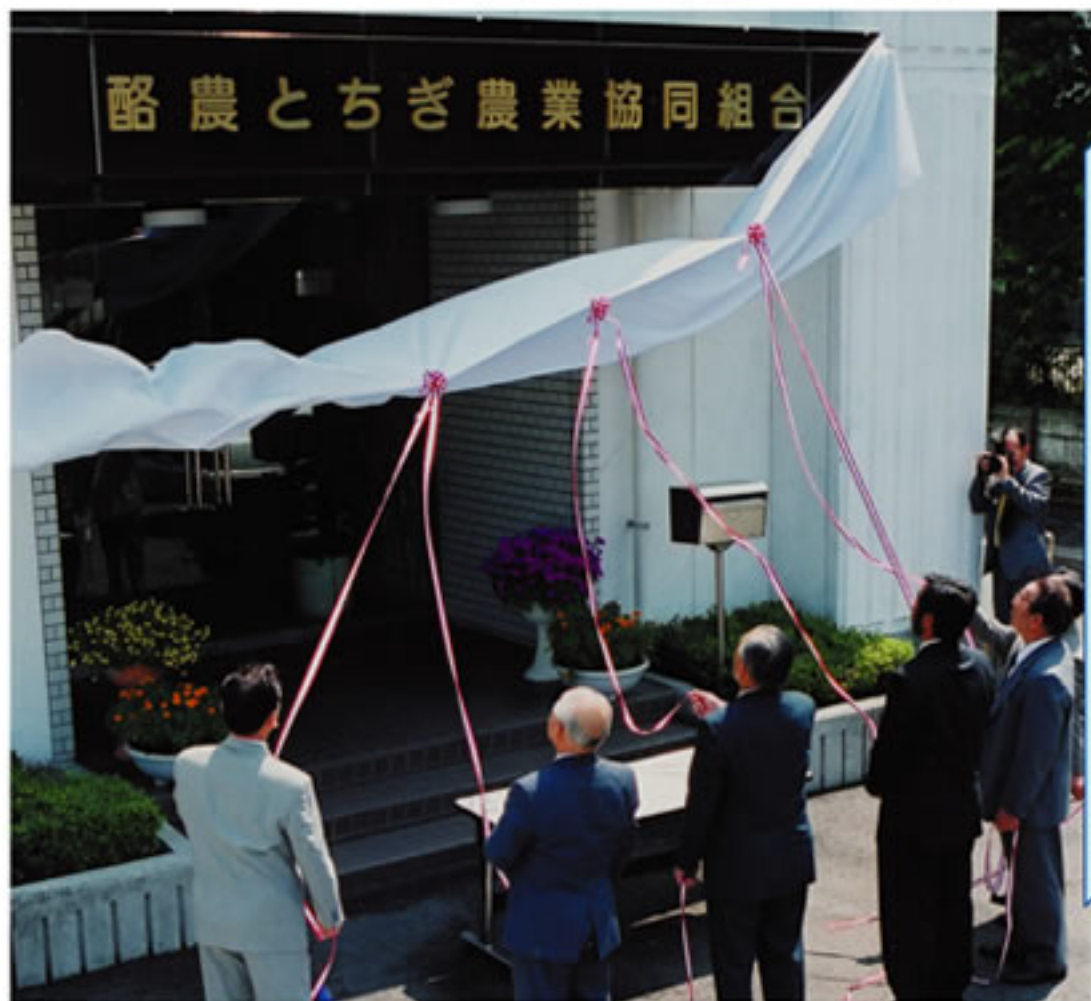


創刊号

# 酪農とちぎ

## 酪農とちぎ農業協同組合発足

効率的な組織運営をめざし



六酪農協が大同団結

八月一日、旧那須高原・三和・北部・明石・那須野・下都賀の六酪農協が合併し、「酪農とちぎ農業協同組合」が発足しました。

本所は、宇都宮市平出工業団地（旧三和酪農協事務所）に置き、組合員は八市二十八町村に八六〇名、乳牛頭数三万九千頭、生乳生産量二十一万トンと、国内最大規模の酪農協としてスタートしました。

酪農とちぎは、新時代にふさわしい酪農組合としての組織機能を図りつつ、各種事業を展開してまいりますので、組合員皆様には深いご理解とご協力くださるようお願い申し上げます。

# 就任あいさつ

## 代表理事組合長 前田 忠利



牛・人・自然との共生をめざす酪農とちぎ

酪農協体制に向けて更なる努力を相応しい門出であると存じます。この組織体制を生かし、関東生乳販売基地としての重要な役割を担い、首都に近いと言う事での顔の見える産地として、組織として、消費者の皆様との交流を図り、新鮮、安全、高品質乳として、信頼をいただき更なる発展を目指したいと存じます。

酪農は後継者不足による酪農戸数の減少、生乳価格の低迷、家畜排泄物法が施行され平成十六年迄に糞尿処理を含めた環境整備が求められています。又、農畜産物の自由化など国際化の進展する中で農業基本法が改正され、新たな酪農乳業対策大綱が制定となり不足払法が改正され、加工原料乳価格も、飲用乳価格と同じく取引当事者間で決める事になりました。これ等諸問題に対し適切に対応し、良い結果を得られる様努力して参りたいと存じます。

二十一世紀の輝かしい、そして多くの可能性を秘める新世紀初年に酪農とちぎは発足いたしました。生乳生産量二十一万トンの全国第一位の生乳生産量を持つ酪農協に相応しい門出であると存じます。この組織体制を生かし、関東生乳販売基地としての重要な役割を担い、首都に近いと言う事での顔の見える産地として、組織として、消費者の皆様との交流を図り、新鮮、安全、高品質乳として、信頼をいただき更なる発展を目指したいと存じます。

酪農はより一層の難しい情勢下にございますが、合併の理念である、スケールメリットの出せる生産資材の供給、有利販売、事業の合理化、効率化を図り組合員各位の付託に応えられる様、役員一体となって目標達成に向けて努力して参りたいと存じます。

関係機関の皆様のご指導と組合員各位のご協力をお願い申し上げます。酪農とちぎ農協発足に際しての挨拶と致します。

傾注して任にあたる覚悟でございます。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

平成十一年十二月二十二日に合併推進協議会を設立し、検討協議を始めて一年七ヶ月の経過の中で、種々危機的な事もありましたが、六組合の強固な意志、不転の決意によってそれを乗り越えこの日を迎える事が出来ました。国・県を始め農協中央会の適切なご指導ご助言を戴いた賜であります。衷心よりお礼申し上げます。酪農とちぎは発足致しましたが、県内組織整備は道半ばであります。真の合理化、効率化を目指して一果一

酪農とちぎ農業協同組合が八月一日六組合の組合員の皆様方の総意によりまして発足いたしました。ご同慶に存じます。同日第一回の理事会に於て、代表理事組合長に選任を戴きました。その責任の重大さに身が引締まる思いが致します。微力ではございますが全力を

## 理事会



同日、理事会を開催し、役付役員の選任並びに次の議案について慎重審議され、原案通り可決決定されました。

### 議案

- 一、代表理事・常勤理事（組合長・副組合長・専務）の選任について
- 二、副組合長の順位について
- 三、参事の任命について
- 四、専門委員会担当理事について
- 五、関連機関・関連会社役員について
- 六、理事報酬について
- 七、借入金の最高限度について
- 八、当座借越限度設定について
- 九、貸付金の利率の最高限度について
- 十、一組合員に対する貸付金の最高限度額について
- 十一、余裕金預け入れ先金融機関の決定について
- 十二、旧組合の所有権の変更手続きについて

## 理事会・監事会で

## 役付役員決定さる

## 監事会



同時に、監事会を開催し、代表幹事の選任並びに次の議案について慎重審議され、原案通り可決決定されました。

### 議案

- 一、代表監事の選任について
- 二、関係機関・関連会社役員について
- 三、監事報酬について



当日選任されました役員は次の方々です。

### 理事（五十六名）

役職名 氏名

代表理事組合長	前田 忠利
代表理事副組合長	菊池 一郎
代表理事副組合長	越井 光男
副組合長	坂本 泰三
副組合長	松原 勇
副組合長	大阿久 要
副組合長	斎藤 修
副組合長	摩庭 桂
副組合長	柏谷 利益
副組合長	大橋 栄治
専務理事	箕輪 長二
理事	小室 勉
理事	小林 幸雄
理事	廣田 治則
理事	前原 博
理事	福田 敏巳
理事	小森 幸雄
理事	佐藤 勝夫
理事	上野 清
理事	松山 秀夫
理事	岩淵 至正
理事	梅野 専一





# 設立祝賀会盛會裡に行われる



6組合長による鏡開き



祝辞を述べられる福田県知事

祝宴に先立ち、六組合長による鏡開きを行い、関東生乳販連の林克郎参事の乾杯音頭で開宴し、懇談に入りました。結びは、藤原林次郎県信連会長が万歳三唱、菊池一郎副組合長の閉会挨拶でお開きとなりました。

続いて、福田昭夫県知事、石鳥保男県議会議員、鹿又敏一農水省関東農政局畜産課長、豊田計県農協中央会長、青沼明德全酪連専務、和田恭三県酪連会長より祝辞を頂きました。

設立祝賀会には、行政、農業団体、乳業者、取引業者、運送会社等百二十名の来賓と役員が参席し、盛會裡に行われました。越井光男副組合長の開会の挨拶に始まり、前田忠利組合長から、設立経過及び今後の組合運営等について報告と抱負を述べられました。



ご来賓の皆さん



# 組合シンボルマーク、 ロゴマーク決定さる

酪農とちぎシンボルマークの公募に際しましては、組合員・職員及び家族から58点の応募を頂きました。ご応募下さいました皆様大変ありがとうございました。

設立委員会にて慎重な審査の結果、次の2点が採用されましたので紹介します。

作品は今後組合旗、牛乳パック等各方面に活用させて頂きますので、皆様におかれましてもご愛用下さるようお願い申し上げます。

## 組合シンボルマーク



烏山町  
吉田和代さんの作品です

酪農のイメージにふさわしい、澄みきった青空と緑の大地をモチーフに酪農(DAIRY)のDと、とちぎのTをあしらったデザインとなっております。

## ロゴマーク

牛・人・自然との共生



芳賀町  
岡田純治さんの作品です

大草原に横たわったマスコットの愛牛君。新しい時代にふさわしい酪農とは、牛と人との共生、自然との共生を図りながら歩むべき姿勢が必要であろう。との提言がこめられております。

## お知らせ

### 酪農試験場公開デーが開催されます。

- 日時 平成13年10月13日
- 場所 栃木県酪農試験場 (西那須野町千本松298)  
TEL.0287-36-0280
- テーマ 『良い牛 良い草 栃木の酪農』
- 主な催し物 試験場研究結果の展示  
体細胞クローン牛の展示  
トウモロコシのサービス、農畜産物の販売など

## 編集後記

多くの希望と期待を受け、八月一日「酪農とちぎ」が誕生しました。

当日は辞令交付、除幕式、理事会及び監事会、祝賀会等のスケジュールに追われましたが、予定通り進行し、ホッとしたところでした。

酪農とちぎは、新時代に向けた新しい酪農組合を目指し始動しました。生乳生産量も国内最大規模の専門酪農協となりますが、名実ともに躍進するようお示しした初年度事業計画に基づき、各種事業を推進しますので、皆様方のご理解とご協力をお願いします。

創刊号となる「酪農とちぎ」は創立記念日の一日を紹介しましたが、今後共組合の動き・様子等を知らせたいとスタッフ一同頑張りますので、併せて愛読下さるようお願いいたします。